

五国 SSH 連携プログラム

「ドローンを用いた地質学調査と防災への応用～離岸流による被害を防ぐために」

レビューシート [ループリック]

令和元年度兵庫「咲いテク」事業 五国 SSH 連携プログラム 2019/11/16 (Sat.)

「ドローンを用いた地質学調査と防災への応用～離岸流による被害を防ぐために～」 レビューシート

1. あなたの所属に○をつけてください

教員 ・ 1 年生 ・ 2 年生 ・ 3 年生

2. 事業の改善点、山陰ジオパークを題材とした研修で行ってほしいことなどを教えてください (自由記述)。

3. 次の自己評価表に【A. 十分に到達した B. 到達した C. 到達しなかった（できなかった）】のどれかでお答えください。自由記述欄は書きやすいところのみでかまいません。

	質 問	自己評価	その理由（自由記述）
参 画	自分の課題を持ち、その課題解決のために自分で、インターネット等で事前に情報収集した。	A・B・C	
	積極的に質問し、自分の課題解決を試みた。	A・B・C	
	講師や他の参加者と話し合い、課題解決につながられた。	A・B・C	
活 動 に お け る 文 脈 知	フィールドワークを通して事前に調べてきたこととの違いを発見したり驚きや自身のこれまでのやり方との違いなどを感じたりすることができた。 (「えっどうして？」などの感情の動き)	A・B・C	
	フィールドワークを通して新たな発見や変化につなげることができた。 (「そういうことだったのか」「こうすればよいのか」などの気づき)	A・B・C	
関 係 性	フィールドワーク参加者として、学びあう集団の一員として他の参加者と積極的にかかわることができた。	A・B・C	
	他の参加者や講師のアドバイスを自分の課題の追求に役立てることができた。	A・B・C	
学 習 経 験 の 転 移	フィールドワークで見つけた課題の中で、研修後も自分で追求できることがあることを発見した。	A・B・C	
	フィールドワークで見つけた課題の中で、自身の課題との共通点を発見した。	A・B・C	
	この研修は、今後の学習活動に活かすことができたものである。	A・B・C	

ご協力ありがとうございました。来年度の事業に活かしたいと思います。